

## 2019年第1四半期 国内サーバー市場動向を公表

**Japan, 2019年6月26日** - IT専門調査会社 IDC Japan 株式会社（所在地：東京都千代田区九段北1-13-5、代表取締役社長：竹内正人、Tel代表：03-3556-4760）は、2019年第1四半期（1月～3月）の国内サーバー市場動向を発表しました。2019年第1四半期の国内サーバー市場全体の売上額は1,424億円で、前年同期から11.6%増加しました。出荷台数は12万9千台で、前年同期から8.8%減少しました。

2019年第1四半期の国内サーバー市場は、売上額が前年同期比で2桁のプラス成長となりました。製品別ではx86サーバー（注1）とメインフレームが、前年同期比2桁のプラス成長となりました。x86サーバーは、9四半期連続でプラス成長、メインフレームは2四半期連続で2桁のプラス成長となりました。一方、その他のサーバー（注2）は、2四半期連続で前年同期比2桁のマイナス成長となりました。

x86サーバーは、売上額が前年同期比12.8%増の1,141億円でした。通信、ネット企業、製造、ITサービス向けの大口案件などで2桁のプラス成長となり、国内サーバー市場を牽引しました。出荷台数は、前年同期比8.8%減の12万7,650台でした。なお、x86サーバーは、Standard Server（Enterprise向け）とCustom Server（Hyperscale Service Provider向け）に分類されます。Standard Serverとは、ベンダーが公開するカタログに掲載されたサーバーで、標準的なマザーボードや筐体をベースとしたサーバーです。Custom Serverとは、主にクラウドサービスベンダーが、ODM Directなどから調達するサーバーで、マザーボードや筐体が、特定の顧客や用途向けに設計されたサーバーです。Standard Serverは、売上額が前年同期比16.3%増の1,035億円、出荷台数は、同5.3%減の11万3,320台でした。Custom Serverは、売上額が前年同期比13.0%減の106億円、出荷台数は、同29.6%減の1万4,330台でした。

メインフレームは、売上額が前年同期比21.2%増の203億円でした。金融、製造、公益向けの大型案件などが貢献し、2桁のプラス成長となりました。その他のサーバーは、売上額が前年同期比18.1%減の80億円でした。前年同期にあった金融や通信向けの大型案件の反動で2桁のマイナス成長となりました。

国内サーバー市場を牽引したx86サーバーは、出荷台数が前年同期比でマイナス成長でしたが、売上額は2桁のプラス成長となりました。これは、x86サーバーの平均単価上昇によるものです。x86サーバー平均単価上昇の要因として、x86サーバーに搭載するプロセッサのコア数増加、これに伴うメモリ搭載容量増加、およびHDDからSSD（Solid State Drive）へのシフトなどがあるとIDCはみています。

IDC Japan エンタープライズインフラストラクチャリサーチマネージャーの下河邊 雅行は「x86サーバーのプラス成長は、平均単価上昇によるものであり、出荷台数はマイナス成長である。平均単価は、今後一定の価格帯で落ち着くとみており、このまま出荷台数のマイナス成長が続けば、売上額もいずれマイナス成長になる。よって、サーバーベンダーは、AIやIoT用途など、サーバーの新規需要創出に努める必要がある」と述べています。

カンパニー別売上額では、富士通が首位を維持しました（参考資料）。次いで、NEC、日本ヒューレット・パカード（HPE）、デルテクノロジー（Dell Technologies）、日立の順でした。日立は、前四半期より順位を一つ上げ5位となりました。出荷台数は、NECが首位を維持しました。次いで、富士通、HPE、Dell Technologies、日立の順でした。上位5社の順位に変動はありませんでした。

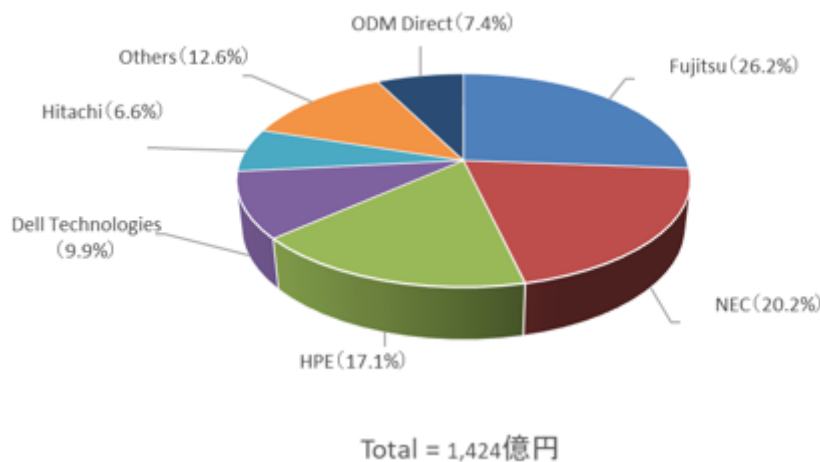
注1：「x86サーバー」は、x86アーキテクチャのプロセッサを採用しWindows、Linuxなどオープン系のOSを搭載したサーバーです。Itaniumプロセッサを搭載したサーバーやベンダー独自OSを搭載したサーバーはx86サーバーに含めません。また、「x86サーバー」と「メインフレーム」以外のサーバーを「その他のサーバー」として記載しています。

注2：「その他のサーバー」は、「RISCサーバー」、「IA64サーバー」、「ビジネスサーバー」、「スーパーコンピュータ」の総称として使用しています。

< 参考資料 >

## 2019年第1四半期 国内サーバー市場カンパニーシェア【売上額】

Figure 1



Source: IDC Japan, 6/2019

## **About IDC**

IDC is the premier global provider of market intelligence, advisory services, and events for the information technology and telecommunications industries. IDC helps IT professionals, business executives, and the investment community make fact-based decisions on technology purchases and business strategy. Over 775 IDC analysts in 50 countries provide global, regional, and local expertise on technology and industry opportunities and trends. For more than 40 years, IDC has provided strategic insights to help our clients achieve their key business objectives. IDC is a subsidiary of IDG, the world's leading technology media, research, and events company. You can learn more about IDC by visiting <http://www.idc.com/>.

IDC is a subsidiary of IDG, the world's leading technology media, research, and events company. Additional information can be found at [www.idc.com](http://www.idc.com).

All product and company names may be trademarks or registered trademarks of their respective holders.

### **For more information contact:**

jp-Press Japan  
jp-press@idcjapan.co.jp  
+81-3-3556-4768